

山梨平和ミュージアム－石橋湛山記念館－

山梨平和ミュージアム－石橋湛山記念館は「伝えたい戦争の記録・記憶を」の市民の声を結集し、2007年5月に開館した民間の博物館です。前身の市民団体「山梨県戦争遺跡ネットワーク」の10年間の調査や資料収集を経て、約800人の市民の賛同金で設立しました。

1階は戦争と平和がテーマ。1945年7月の甲府空襲について、亡くなった1127人全員の名前を記載したパネル、元日航機長・諸星廣夫氏と米軍B29飛行士との交流で明らかになった実態や歴史を伝えています。スペイン・ゲルニカや中国・重慶などでの戦略爆撃の歴史や、フィリピン・レイテ戦でほぼ全滅した甲府連隊の歴史も紹介。当時の教科書やパネルなどで戦時下の教育や暮らしぶりを示すコーナーもあります。

2階は、山梨県で育った石橋湛山（1884～1973年）の生涯と思想を展示する全国唯一の記念館。東洋経済新報社の記者・言論人として、大正から昭和の戦時下、平和・民権・自由主義を唱え、戦後は首相になった湛山の歩みを写真や実物資料で振り返っています。2千冊以上の図書と200点以上のビデオを所蔵。市民提供資料が並ぶ「私の展示コーナー」も設けています。

また、戦争体験者の証言や、戦争と平和に関する講演会などの講座を毎月開き、半年ごとに企画展（現在、「安保法10年、立憲政治の今」）を開催しています。体験者や学習者が記録などを持ち寄る市民参加型の「平和の港」となるよう、学習、発見、交流を広げています。小・中・高校生の学習の場としても最適です。

住 所	甲府市朝気1の1の30	ホームページ	http://ypm-japan.jp/
電 話	055-235-5659	休館日	火曜、水曜、祝日

1階の展示



2階の展示

